

# 3-1. 評価指標の設定

本計画では、まちづくり・公共交通軸、生活交通、交通DX及びGXに係る4つの評価指標を設け、毎年評価を行います。

指標1	公共交通が便利な地域周辺に住んでいる市民の公共交通利用率
主旨	公共交通軸を磨くことで、公共交通が便利な地域に住む市民を中心とした積極的な公共交通利用を目指す
指標の定義	$\frac{\text{公共交通が便利な地域内の鉄軌道駅・バス停の1日平均利用者数}}{\text{公共交通が便利な地域に住む人口}}$
現状値	38.9%(令和4年度)
目標値	44%(令和15年度)
目標値の考え方	・コロナ禍以前(平成30年度)までの回復を目指す

指標2	郊外や中山間地域の生活交通利用率
主旨	利便性の高い生活交通サービスを提供することで、生活交通での日常の外出機会の増加を目指す
指標の定義	$\frac{\text{生活交通※利用者数}}{\text{R4年度における生活交通※の利用者数}}$ ※市営コミバス、地域自主バス、乗合タクシー
現状値	229,779人(令和4年度)
目標値	9ポイント増加(令和15年度)
目標値の考え方	・コロナ禍以前(平成30年度)までの回復を目指す

指標3	生活交通のオンライン予約率(交通DX)
主旨	オンライン手続きの推進による手続きの効率化を目指す
指標の定義	$\frac{\text{デマンド交通におけるオンライン予約者数}}{\text{デマンド交通の予約者数}}$
現状値	7.5%(令和5年4月～令和6年1月)
目標値	26%(令和15年度)
目標値の考え方	・本市(旧町村)の60歳以上のインターネット利用率は、64.5%である ・また、60歳以上がサービスの購入にインターネットを利用する割合は40%である(R2情報通信白書、総務省) ・以上より、 $64.5\% \times 40\% \div 26\%$ を目指す

指標4	市が運営するバスにおける電動化普及率(交通GX)
主旨	公共交通のカーボンニュートラルの実現を目指す
指標の定義	$\frac{\text{電動化車両導入台数}}{\text{車両所有台数}}$
現状値	0%(令和5年度)
目標値	30%(令和15年度)
目標値の考え方	・自動車の電動化に関する政府目標(2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略)において、小型トラック・バス(8t以下)の目標は、2030年(令和12年)までに新車販売で電動車20～30%とされている ・以上より、30%を目指す

# 3-2.達成状況の評価方法

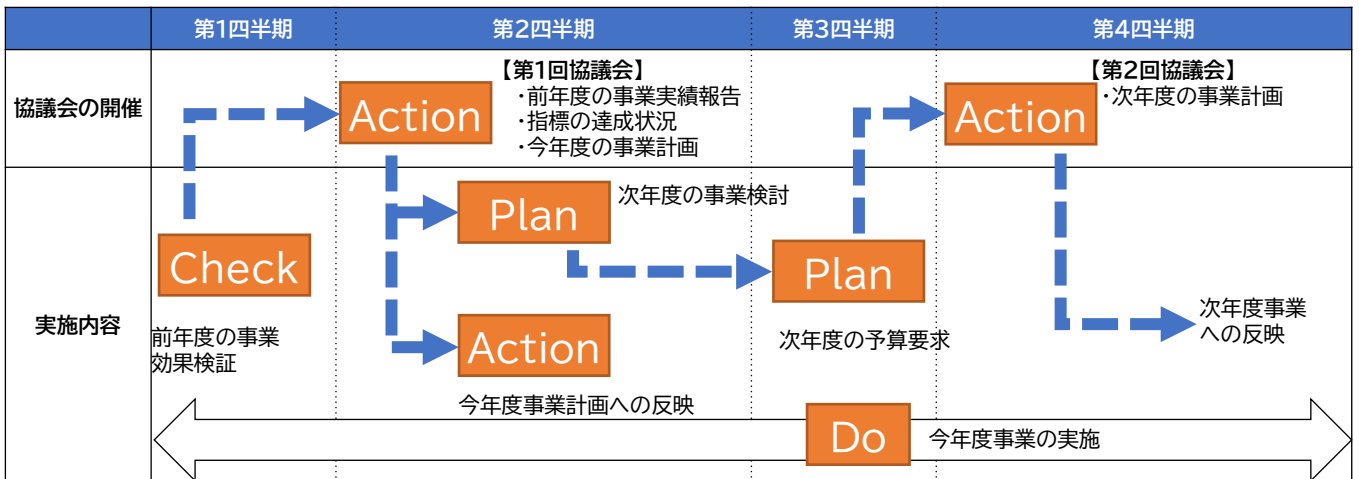
## ■都市交通協議会での評価・検証

事業の実施、改善による効果、影響を把握するために設定した評価指標に基づき、毎年度、定期的に都市交通協議会において、評価・検証を行います。また、事業の問題点や改善の要望を把握し、必要に応じて事業の追加、計画の見直しを検討します。

富山市都市交通協議会



## ■年間スケジュール



## ■計画期間中のスケジュール

